

神池

天空の
里に広がる
チューリップ

神池に
きてよい!



神池の特産物

昔、明治から昭和40年代は全国的に養蚕が盛んで、この地域も蚕を飼っていました。

昔の特産物は、ミツマヤお茶、サツマイモなどがあります。

チューリップも特産物の一つで、チューリップは17年前から作りはじめられました。

大板中学校と一緒に植えたのが17年前。神池地区の方々がお世話をしてくれておかげで毎年きれいなチューリップが咲きます。



その他

。神池の人数は、46人います。神池は奈良時代からあり、お寺と神社。そして、歴史などのいろんなことが神池にあります。神池は、いろんな行事でも活躍しており、保育園や小学校、中学校もいっしょに行事を行っています。最近では、お祭りもあり火渡り体験もできます。高板不動堂で年に二回お祭が行なわれています。ほかにも、おもしろいスポットや歴史があります。

◎無口な住民!?

カカシをつくるキッカケとなった出来事は、ある人が散歩をしていて、「人がいなくなった」と言ったことが、キッカケで、カカシを作ることになった。

カカシというのは、大人の遊び心で、最近ではカキづくりが楽しみになっています。そして、カキをつくる場所は、コミュニケーションの場となっています。カキを羽物祭りのカキコンテストに出すことで、神池のカキは、高評価を得て注目されています。

◎神池伝説

男池と女池

1500年から2000年前のことであった...。女池にはめすの大蛇が、男池にはおすの大蛇が住んでいたそう。その大蛇は夜になると出てきては民家のにわとりや、牛、人などおそって食べていましたので、村人たちは困り果てておった。そこで、鍛冶屋の若者が口を刀でくわえて、3日間池に入って大蛇を追い回したが、大蛇は出てこなかった。若者は家に帰り、目に入った大金づちを真赤になるまで焼き、池の大蛇に投げつけると、大蛇は逃げて行ったそう。その大蛇は改心し、龍神になって村を守っているそう。



〜神池地区の皆さん〜

インタビューにご協力いただきありがとうございました。

